

1 回生

コース選択に向けて、1 回生でも受講できる専門科目や、全学共通科目を主に履修する。

2 回生

各コースの専門科目を履修し、学びの専門性を高める。  
(自分が所属していないコースの専門科目も履修可能！)

3 回生

卒業論文作成に向けて、少人数で指導を受ける。専門科目をさらに深めつつ、興味のあるテーマを探る。

4 回生

4 年間の集大成である卒業論文を作成する。就職活動や大学院受験など、進路を決めていく。

新大学について

二〇二二年度に、大阪府立大学と大阪市立大学が統合してできる新大学は、両大学の様々な学部が統合・再編されて生まれます。しかし、新大学の文学部は、市大文学部とその構成は全く変わりません。文学部は、新大学より一足先に改革を進め、昨年度、文化構想学科を新設しました。せっかく出来たばかりの新しい市大文学部を変える必要はないのです。新大学発足後、3年間(二〇二四年度まで)は、現在の市大文学部と同じ杉本キャンパスで教育を行います。そして、二〇二五年度には、新キャンパスである森之宮キャンパスに進出します。新キャンパスでも文学部の構成は変わりませんが、大阪都心部の立地や新しい施設を活かして多彩な教育・研究のプログラムの展開を計画しています。こうした文学部の「未来予想図」については、本年11月22日(日)に、あべのハルカスで開催予定の「オープンファカルティ二〇二〇」で、より詳細に紹介します。今後、市大文学部のHPのイベント情報に、ぜひ注目してください。

文学部組織図

哲学歴史学科

- 哲学コース
- 日本史コース
- 世界史コース

5  
6  
7

われわれは何者なのか? どこから来て、どこへ向かって進んでいくのか? 新しい世紀を迎えて、従来の文化的・社会的伝統の克服がさげばれる今日のごころです。しかし、わたくしたち人間が歩んできた道のりがどのようなものであったのか、人間とは何者であるのか、を理解することなしには、わたくしたち自身の未来の明確なイメージを描くことは、決してできないでしょう。哲学歴史学科は、このような、いわば人間のアイデンティティーにかかわる根本的な問題について、ともに考えてゆくことをめざしています。

人間行動学科

- 社会学コース
- 心理学コース
- 教育学コース
- 地理学コース

8  
9  
10  
11

情報化や国際化の波を受けて大きく変化している今日、心の世界、人と人とのつながり、人と自然との共生といったことへの関心が高まっています。このような時代にあつて、人間行動学科では、観察・調査・実験といった科学的方法に基づいて、人間の行動、われわれをとりまく社会・環境、そして両者のかかわりについて、さまざまな角度から明らかにしています。人間行動学科では、各コースそれぞれの学問分野を中核としながらも、それらを有機的に結びつけた独自のカリキュラムを提供することによって、「人」とその「環境」の複雑さを、さまざまな視点から理解していくことのできる人材の育成をめざしています。

言語文化学科

- 国語国文学コース
- 中国語中国文学コース
- 英米言語文化コース
- ドイツ語フランス語圏言語文化コース
- ドイツ語圏言語文化領域
- フランス語圏言語文化領域

12  
13  
14  
15  
16

言語文化学科は、言語を通して人間にアプローチし、人間が作り上げた文化を探究します。わが国、アジア地域、欧米諸地域の文学や、思想関係の文献を読み、言語の姿や仕組みを考察します。また言語と関係する文化、たとえば演劇・音楽・映画なども分析の対象とします。こうした作業を通じて、人々がこれまで何を考えてきたか、現在何を考えているのか、そして今後どのような新しい考えを打ち出すのかを探ります。

文化構想学科

- 表現文化コース
- アジア文化コース
- 文化資源コース

17  
18  
19

文化は創造力や感性を育むことで豊かな人間性を涵養(かんよう)するとともに、来たるべき社会の新たな価値を創出し、他者との共感を通じた相互理解を促進することで、共生的社会の基礎を形作ります。文化構想学科は、従来の学問分野からはこぼれ落ちてしまいがちな文化的事象をも積極的に考察対象とすることで、現代社会で必要とされる文化への深い理解を養います。また、そうした深い知見に根ざしつつ、多様な文化的事象を社会のなかで積極的に活用することで、現代社会が抱える諸問題の解決に取り組み、21世紀型成熟社会を文化の面から担う人材を育てます。